

2019年10月31日

各 位

セキ株式会社  
 代表取締役社長 関 宏孝  
 (JASDAQ・コード 7857)  
 問合せ先  
 役職・氏名 取締役 経営管理本部長  
 松 友孝之  
 TEL 089-945-0111

2020年3月期第2四半期業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2019年5月9日に公表しました2020年3月期(2019年4月1日より2020年3月31日まで)の第2四半期連結業績予想数値ならびに第2四半期個別業績予想数値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、これを公表することにつきまして、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

業績予想と実績値の差異

1. 2020年3月期第2四半期連結業績予想数値と実績値の差異  
 (2019年4月1日~2019年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	5,760	△175	△85	△80	△19円21銭
実績値(B)	5,906	△49	41	16	3円97銭
増減額(B-A)	146	126	126	96	—
増減率(%)	2.5	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	5,599	△112	△29	△21	△5円24銭

2. 2020年3月期第2四半期個別業績予想数値と実績値の差異  
 (2019年4月1日~2019年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	4,250	△53	△43	△10円32銭
実績値(B)	4,405	75	43	10円37銭
増減額(B-A)	155	128	86	—
増減率(%)	3.6%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	4,078	△29	8	2円16銭

### 3. 差異が生じた理由

売上については、印刷関連事業にて首都圏での業績が堅調であったことや前倒し発注があったこと、カタログ販売関連事業にてオフィス関連用品通信販売業者に対する取引の伸張に加え消費税増税による駆け込み需要の影響等により、前回発表予想を上回りました。利益面については、売上の増収効果に加え、生産性向上への取り組みにより想定していた費用の低減に繋がり、営業利益、経常利益、親会社株式に帰属する四半期純利益及び個別の四半期純利益が前回発表予想を上回りました。

2020年3月期通期の連結業績予想及び個別業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

以上